

産業デザイン展広島2011シンポジウム

SPORTS & DESIGN

観戦するスポーツ、参加するスポーツ、対象は様々ですが昨今、個人のスポーツへの関心は非常に高まっています。健康志向も大きな引金となっていますが、スポーツグッズやウェア類に機能性やファッション性と関係の深いデザインが広く深く取り込まれてきたというのもその要因でしょう。カッコイイシューズを履くと速く走れそうな気がする。デザインがその気にさせてくれるという事もあるのではないのでしょうか？今回の産業デザイン展広島シンポジウムではそんなスポーツとデザインの関係を少し解き明かしたいなと思います。スポーツとそのデザインがあなたの日々の生活をもっと楽しくさせてくれますように！

2011. 1/18 (火) 開場 13:30 14:00~17:00

広島国際会議場・ダリア

広島市中区中島町1-5 (平和記念資料館西隣)

入場無料・定員150名

裏面書式による事前申し込みが必要です。

■主催/産業デザイン展実行委員会 (財団法人広島市産業振興センター 広島商工会議所 広島県中小企業団体中央会) ■協賛/中国経済連合会
■後援/中国経済産業局 広島県 広島市 財団法人日本産業デザイン振興会 中国新聞社 NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ
テレビ広島 広島エフエム放送 FMちゅービー ふれあいチャンネル ひろしまケーブルテレビ

お問い合わせ先：財団法人広島市産業振興センター デザイン開発室 TEL. 082-242-4170 E-mail design@itc.city.hiroshima.jp

SYMPOSIUM

■基調講演「スポーツ用品とデザイン」



●講師 長野 勇
モンベルグループ代表 冒険家

1947年大阪府堺市生まれ。1969年ヨーロッパアルプス・アイガー北壁日本人第2登攀、マッターホルン北壁登攀。1970年日本初のクライミングスクールを開設。1975年に株式会社モンベルを設立。クライマー、カヤッカー、冒険家として世界各地を旅しつづける一方で、障害者カヌーや子供たちの野遊び指導など、社会活動に力を注いでいる。モンベルの野外活動部門であるM.O.C (モンベルチャレンジクラブ) の校長、徳島県吉野川では川ガキ養成講座「川の学校」の講師を務める。著書に「社長室はアウトドア」、「カヤック/カヌー入門」などがある。びわこ成蹊スポーツ大学客員教授、文部科学省独立行政法人評価委員、関西ニュービジネス協議会・起業家大賞、日本ニュービジネス大賞通商産業大臣賞、第1回デザインエクセレントカンパニー賞受賞。趣味は横笛と茶。

■パネルディスカッション「スポーツとデザインの関係」

●コーディネーター 迫 勝則

広島国際学院大学 教授 作家
現代社会学部長



1969年マツダ株式会社入社。1980年代には海外企画室次長としてブランド戦略を推進。以降、ブランド戦略マネージャーなどを歴任。2001年にマツダを退社。現在、作家活動の傍ら広島テレビのコメントーターも務める。熱烈的な広島東洋カープファンで、著書に「広島にカープはいないのか」、「前田の美学」、「カープの美学」などがある。

●パネリスト 福元 哲郎 トライアスリート



2003年クインズタウン大会を皮切りに世界トライアスロン選手権アジア部門に公式派遣され、数々の戦績を残す。2007年アジアチャンピオン。三原市役所に勤務する傍ら社会人競技者として日本全国トライアスロン大会に参戦。日本エージ別選手権天皇大会は6連覇。地域の子供達にスポーツを通して「人間力」をアピール、健康や食育等の指導ももっている。

●パネリスト 達川 光男

プロ野球解説者



1977年広島カープに入団。ベストナイン3回選出、オールスター7回出場。1999年広島カープの監督に就任。ダイエー、タイガースのコーチを経て、現在解説者として活躍している。トリックプレーヤーの印象があるが野球関係者の中では超額派として知られており、コーチとして王監督、星野監督のもとで指導するなど、その野球理論は選手から一目置かれている。

●パネリスト 山田 晃三

株式会社GKデザイン総研広島
代表取締役社長 デザインディレクター



1979年GKインダストリアルデザイン研究所入所。1992年にGK、マツダ等との合併によるデザイン総研広島に移籍。広島アストラムライン・デザイン計画にてGマーク企画。秋田県UDXビル・環境デザイン計画にて日本デザインアワード受賞(経産大臣賞)。日本インダストリアルデザイナー協会理事。日本グッドデザイン賞(Gマーク)審査委員。日本道具学会会員。